

# 平成19年度 国立大学法人等職員採用 (図書系) 二次専門試験

## 小論文筆記問題

### 注意事項

1. 解答時間は正味1時間です。
2. 解答用紙の記入について
  - (ア) 解答は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるよう訂正してください。
  - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
  - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
  - (エ) 解答用紙には、受験番号、氏名及び解答以外は記入しないでください。
3. この問題集及び解答用紙は、持ち帰ることができません。なお、試験時間中に、この問題集を、切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。  
なお、この問題集の余白は下書きに使用して差し支えありません。

第一次試験受験番号	氏名
-----------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

近年、大学新生に対する「初年次教育」あるいは「導入教育」が注目され、各大学での取り組みが行われるようになってきている。

以下の引用を踏まえて、大学新生に対するこうした教育の三つの側面において、どのような図書館利用者教育が必要かについて、1,000文字程度（800～1,200文字）で述べなさい。

なお、全体を4章に分けた構成で、「OPAC」、「利用マナー」、「専門資料」の三つのキーワード（順不同）を文中に含めること。

「導入教育とは、高校から大学への学習面、生活面を含めての円滑な移行を目指すための教育であると定義できる。具体的には、(一)スタディ・スキル（一般的なレポート・論文の書き方や文献の探し方、コンピュータ・リテラシー）の教育、(二)スチューデント・スキル（大学生に求められる一般常識や態度）の教育、そして、(三)専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育、の三つの側面である。」

「大学における導入教育の拡がりと意義」山田礼子『大学と学生』No.29(2006.6)より